

2026年度

シラバス



学校法人 湯梨浜学園

湯梨浜学園高等学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑3-2-1

TEL (0858)48-6810

FAX (0858)48-6813

シラバス

教科名	国語	科目名	論理国語	単位数	2		
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 近代以降の文章を読解できる能力を高め、大学入試に対応できる能力を身につけている。 ② 言語感覚や思考力を磨き、適切に他者理解をしながら考え方を深め、人生を豊かにする姿勢を育てる。 ③ 書く・話すことを基に、進んで自身の意見を表現することによって、正しく相手に伝える力を育てる。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。						
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。						
教科書・教材等	論理国語（大修館） 現代文グレートラーニング40レベル3 自作テキスト など						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	評論：「システムとしてのセルフサービス」 「スキーマと記憶」	筆者の独特な文体を論理的に読み取り、構成・展開・要旨などを的確に理解する。	6	10	評論：「こころは見える？」 「日常に走る亀裂」	筆者の主張や内容を捉えさせ、近代科学の方法論について読解を深めるとともに、抽象的・概念的な用語や表現を理解する。	8
5	評論：「分かち合う社会」 「デジタル地図から見える世界」	筆者の考察を読み取り、社会や科学への理解を深める。文章を批判的に読むことを通して、自分の考えを深め、表現できる力を養う。	6	11	小説：「赤い繭」 評論：「言語と他者」	社会と個人の関係という漠然とした作品中の作者のアイデンティティを読み取り、作品の道筋を学習者それぞれの考えを出し合いながら比較検討する力を養う。	8
6	小説：「山椒魚」	豊かな表現を読み味わうとともに、作者が施した表現技法の狙いも把握し、小説の構構性を理解する。	8	12	評論：「猫は後悔するか」 「多数決を疑う」	これまでの学習成果を踏まえ、哲学的で抽象度の高い文章や政治と社会に関する文章を的確に理解し、要約できる力を身につける。	6
7	評論「無常ということ」	文章の構成や、段落相互の関係を読み取らせ、筆者の主張や内容をとらえ、読解力を高める。	6	1	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	6
8	復習及び発展内容		2	2	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	8
9	評論：「あらわれと消え去り」 「共感覚と比喻」	文章の構成や、段落相互の関係を読み取らせ、筆者の主張や内容をとらえ、読解力・要約力を高める。	8	3	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を付ける演習や指導も随時行う。	6

備考 ・副教材を活用した問題演習も、授業中に行う。 ・適宜、論文指導を行う。

教科 科 名	国語	科 目 名	古典探究	単 位 数	2		
対 象	高校 2 年	履 修 形 態	必修	授 業 形 態	習熟度別		
学 習 の 到達 目 標	① 古典を正確に読解し的確に理解する能力を育成し、大学入試に対応できる能力を身につける。 ② 様々な時代の文学（近現代の作品を含む）を学ぶことで、思考力を伸ばし心情を豊かにする。 ③ 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。						
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。						
学 習 方 法	① 様々な教材（古典教材・現代文教材）を用いた比較・探究を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。						
教科書・教材等	精選古典探究（大修館） 古典グレートラーニング 4 8 レベル 3 必携新明説漢文（尚文） 自作テキスト など						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	古文：「源氏物語」 ・ 桐壺 ・ 若紫	「源氏物語」の世界に親しみ、その魅力を理解する。また、それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理を理解する。内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する。	6	10	漢文：「文章」 ・ 桃花源記 古文「和泉式部日記」 ・ 薫る香に	作品に現れる社会観・自然観を読み取り、自己の感じ方を豊かにさせる。また、速読・速解能力に磨きをかける。 作者の感情を読み取り、物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に理解する。また和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。	8
5	漢文：「故事・逸話」 ・ 糟糠の妻 ・ 塞翁が馬	漢文訓読に習熟し、漢文構造・句法事項に関しては抜けの無いようにする。また、故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述のおもしろさを味読する。漢文に親しみ、当時の人々の考え方や生き方を学ぶ。	6	11	漢文：「思想」 ・ 賢哉回也 ・ 暴虎馮河	孔子や孟子等の学問や政治、思想に対する考え方を知り、当時の物の考え方や社会性を学ばせ、速読・速解能力に磨きをかける。諸子百家の状況についての理解を深める。	8
6	古文：「大鏡」 ・ 競べ弓 ・ 花山院の出家	作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。歴史物語としての特色を理解する。読解の前提となる敬語や文法知識を身につける。	8	12	古文：「蜻蛉日記」 ・ 町の小路の女 復習及び発展内容	日記における和歌の表現技法を理解したり、登場人物の意図を捉え、人物間の心情を表現に即して深く読み味わえるようにする。	6
7	漢文：「漢詩」 ・ 李白 ・ 杜甫	唐代の有名な詩人の詩を繰り返し音読し、人生観や自然観についての認識を深めるとともに、漢文独特の口調・句法を習得する。また、近体詩の規則・特徴を理解する。	6	1	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	6
8	復習及び発展内容		2	2	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	8
9	古文：「枕草子」 ・ 中納言参りたまひて ・ 二月つごもりごろに	随筆の学習を通じて、作者の人格と感性の特質を理解し、個性的な感想の面白さを味わう。平安時代の宮中の様子など古典常識を身につける。場面状況に応じた本文の読み取りから、読解の基礎を養う。	8	3	大学入試対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。新制度入試問題への対応力を着ける演習や指導も随時行う。	6

備考

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	単位数	3		
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 世界の歴史を日本の歴史と関連付け、世界の構造や成り立ちを歴史的視野から理解しかつ考察する力を養う。 ② 他国や他の地域と協調していく態度を身につける。 ③ 民主的、平和的な国家の一員としての自覚をもつ。 ④ 国際社会の中で、主体的に行動する日本人としての資質を培う。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。						
学習方法	① 教科書記載事項を重視し、熟読をする。 ② 授業で解説や補足説明を受ける。 ③ 問題演習によって復習することにより、知識の定着を図る。						
教科書・教材等	詳説世界史探究（山川出版社）、詳説世界史授業用整理ノート（山川出版社） 詳説世界史図録（山川出版社）						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	【第1章】 文明の成立と古代文明の特質 【第2章】 中央ユーラシアと東アジア世界	農耕・牧畜などの古代文明の成り立ちを理解する。 中央ユーラシアの遊牧と、東アジアの国家について理解する。	9	10	【第12章】 産業革命と環大西洋革命 【第13章】イギリスの優位と欧米国民国家の形成	産業革命や、アメリカ独立革命、フランス革命について理解する。 国民国家の形成について理解する。	12
5	【第3章】 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【第4章】 西アジアと地中海周辺の国家形成	ヒンドゥー教や仏教などを受け入れながら栄えた南インドと、中国などと交流をおこなってきた東南アジアについて理解する。 イラン・ギリシア文明について理解する。	9	11	【第14章】 アジア諸地域の動揺 【第15章】 帝国主義とアジア民族運動	ヨーロッパによるアジアの従属化と植民地かの進行を理解する。 アジア・アフリカでのナショナリズム運動について理解する。	12
6	【第5章】 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【第6章】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【第7章】 ヨーロッパ世界の変容と展開	西アジアに定着したイスラーム教と、それに対抗したビザンツ帝国とフランク王国について理解する。その後、各地に広まり、モンゴルの来襲を受けたことを理解する。 中世の西ヨーロッパについて理解する。	12	12	【第16章】 第一次世界大戦と世界の変容 【第17章】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	各国の利害関係と、二度の世界大戦を行わざるを得なかった状況を理解する。	9
7	【第8章】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【第9章】 大交易・大交流の時代	唐・宋の支配を継承したキタイや金と、モンゴル帝国の動きについて理解する。 モンゴル帝国解体後、地球規模で一体化が進んだことを理解する。	9	1	【第18章】 冷戦と第三世界の台頭	冷戦体制により世界が分裂し、段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として発言力を強めたことを理解する。	9
8	【まとめと復習】	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	3	2	【第19章】 冷戦の終結と今日の世界	東欧社会主義圏とソ連の解体、情報技術革命とグローバル経済の進展、多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	12
9	【第10章】 アジア諸帝国の繁栄 【第11章】 近世ヨーロッパ世界の動向	オスマン帝国・サファビー朝などの諸帝国について理解する。 海洋進出や宗教改革をへて、近世に入ったヨーロッパについて理解する。	12	3	【まとめと復習】	一年の内容をおさらいし、知識を定着させる。 問題演習を行い、大学入試へつなげる。	9

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	単位数	3		
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 我が国の歴史の展開を日本史的視野に立って総合的に学習し、考察させる。 ② 我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培う。 ③ 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。						
学習方法	① 教科書・史料集・図録を用い、歴史を考察する基本的な方法を身につける。 ② 史料・資料を読み取り、歴史的事象の因果関係を見つけ、受験に必要な知識・技法を身につける。 ③ 大学入試・校外模試の問題演習を行い、受験に必要な知識を身につける。						
教科書・教材等	詳説日本史探究（山川出版社）、詳説日本史授業用整理ノート（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社）						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	【第1章】 日本文化のあけぼの	日本列島の自然環境の変化と、生活文化への影響を理解する。	9	10	【第10章】 幕藩体制の動揺 【第11章】 近世から近代へ	幕藩体制が動揺し始め、国内外の問題とも相まって、崩壊へと進む道を理解する。 新たな政治体制が生まれ、近代国家へと成長する道のりを理解する。	12
5	【第2章】 古墳とヤマト政権 【第3章】 律令国家の形成	政治連合の形成と、大陸とのかかわりを理解する。 中国の制度を模倣した律令国家の支配体制について理解する。	9	11	【第12章】 近代国家の成立 【第13章】 近代国家の展開	明治政府が列強にならって近代化をすすめたことを理解する。 その流れの中で戦争に勝利し植民地を得て、新たな国際関係に中へと入っていく過程を理解する。	12
6	【第4章】 貴族政治の展開 【第5章】 院政と武士の躍進	貴族政治の展開と、地方の支配体制について理解する。 力を付けた武士の台頭と、院政のきっかけについて理解する。	12	12	【第14章】 近代の産業と生活 【第15章】 恐慌と第二次世界大戦	近代国家へと変化した日本では庶民の生活も西洋の文明・技術を受け入れて様変わりしたことを理解する。 国際的な協調体制が崩れ、日本が大きな戦争に向かっていくことを理解する。	9
7	【第6章】 武家政権の成立 【第7章】 武家社会の成長	本格的な武家政権が内外の脅威を経て全国に広がる過程を理解する。 また南北朝の動乱をへて、武士の家族制度に大きな変化があったことを理解する。	9	1	【第16章】 占領下の日本 【第17章】 高度成長の時代	第二次大戦後、アメリカの占領政策により、大きな改革が行われたことを理解する。 独立回復後は長い繁栄を謳歌したことを理解する。	9
8	【まとめと復習】	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	3	2	【第18章】 激動する世界と日本	冷戦構造が崩壊し、世界のグローバル化が進む中での日本の立ち位置を理解する。	12
9	【第8章】 近世の幕開け 【第9章】 幕藩体制の成立と展開	日本列島を一つに統一した政権の出現について理解する。 その後に誕生した安定政権の統治体制について理解する。	12	3	【まとめと復習】	一年の内容をおさらいし、知識を定着させる。 問題演習を行い、大学入試へつなげる。	9

教科名	地理歴史	科目名	地理探究	単位数	3		
対象	高校2年	履修形態	選択必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 近代世界の地理的な事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 ② 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、ワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、課題提出物、ワークシートなどで評価。						
学習方法	① 地図帳、プリント（資料）類を使い、板書をノート整理し、効率よく地理的な事象を把握する。 ② 基礎事項を確認し、地図・地名・用語・統計を理解する。 ③ 問題演習によって地理的な諸課題について、知識の定着を図る。						
教科書・教材等	地理探究（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院） 新編地理資料（とうほう） データブックオブザワールド（二宮書店） 地理探究ワークブック（二宮書店）						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	【第Ⅰ編】 第1章 自然環境 ①地形 ②気候と生態系	地形に関わる諸事象の規則性、傾向性や人間による利用などについて理解する。 また気候と生態系に関わる規則性、傾向性や、気候の地域性などについて理解する。	9	10	②村落・都市 第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域	村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組、民族問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	12
5	③世界各地の自然と生活 ④日本の自然環境と防災	世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性や、気候区分の方法などについて理解する。 また、日本の自然環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、自然災害などについて理解する。	9	11	【第Ⅱ編】 第1章 地域区分 第2章 現代の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア	世界の大国としての中国や隣国としての韓国について、歴史的背景や経済体制、政策などの項目を整理しながら基本的な知識を習得する。 経済発展の著しい東南アジアについて基本的な知識を習得する。	12
6	⑤地球環境問題 第2章 資源と産業 ①農林水産業	地球環境に関わる諸事象の規則性、傾向性や、持続可能な地球環境の開発のあり方などについて理解する。 また、農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性や、食糧問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。	12	12	④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	近年急成長するインドを中心とした南アジアや、乾燥地帯に位置する西アジア・中央アジアについて基本的な知識を習得する。	9
7	②資源・エネルギー ③工業 ④第3次産業	資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取組、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	9	1	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	広大な大陸に位置するアフリカ、地域統合の進んだヨーロッパ、世界最大の面積を持つロシアなどについて自然や産業などについて考察させる。	9
8	【まとめと復習】	一学期の内容をおさらいし、知識を定着させる。	3	2	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア ⑫ニュージーランドと島嶼国	広大な面積を持つアングロアメリカの2か国、南北に長いラテンアメリカ、南半球に位置する大陸国家オーストラリア、日本と同じ太平洋に面するニュージーランドとオセアニアの島嶼国などについて基本的な知識を習得させる。	12
9	第3章 人・モノ・金のつながらり ①交通・通信 ②貿易・環境 第4章 ①人口	交通・通信、運輸、観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 人口に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、人口問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	12	3	【第Ⅲ編】 ①現代日本に求められる国土像 【まとめと復習】	日本がかかえる地理的な課題を生徒自らに発見させ、その課題を多面的・多角的に考察、探究させる。	9

教科名		数学	科目名		数学Ⅱ(数学ⅠAⅡ)		単位数	4			
対象		高校2年(文系)	履修形態		必修		授業形態	習熟度別			
学習の到達目標		① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。									
評価の観点 評価方法		① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。									
学習方法		① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらう説明が書けるよう心がける。									
教科書・教材等		高等学校 数学Ⅱ(数研出版)、4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版) 進研WINSTEP数学ⅠA Standard(ラーンズ)									
年間授業計画											
月	学習内容		学習のねらい		時数	月	学習内容		学習のねらい		時数
4	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式		平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解する。		12	10	2次関数		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		16
5	第2節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用		増減表から増減を調べ、グラフを描くことができる。解の個数にグラフを応用することができる。		12	11	図形と計量		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		16
6	第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積		定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解する。定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。積分と面積の関係を理解し、活用できるようにする。		16	12	データ分析		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		12
7					12	1	場合の数と確率		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		12
8	数と式		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		4	2	図形の性質		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		16
9	数と式		教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。		16	3	マーク式演習		マーク式の演習問題を通し、重要な解法・考え方を押さえる。		12

備考

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ(数学Ⅲ)	単位数	4		
対象	高校2年(理系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 基礎的な知識の習得と授業の充実を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす。 ② 極限、微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ② 評定にあたっては、ペーパーテスト等による知識や技能のみの評価に偏した評定を行わない。 ③ 「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。						
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。そして、教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえ説明が書けるよう心がける。 ② 今までに学んだ考え方・公式等と、授業で新たに学んだ考え方・公式のつながりを意識するよう心がける。						
教科書・教材等	高等学校 数学Ⅱ(数研出版) 高等学校 数学Ⅲ(数研出版)、4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版) 4STEP 数学Ⅲ+C(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版)、クリアー数学演習ⅢC受験編(数研出版) 進研WINSTEP数学ⅠA Standard(ラーンズ)、進研WINSEP数学ⅡBC Standard (ラーンズ)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解する。	12	10	第2節 関数の極限 4. 関数の極限(1) 5. 関数の極限(2) 6. 三角関数と極限 7. 関数の連続性	簡単な関数の極限について、グラフなどで直観的に考察できる。不定形を解消するように関数の式を変形することにより、関数の極限値が求められる。 定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる。	16
5	第2節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用	増減表から増減を調べ、グラフを描くことができる。解の個数にグラフを応用することができる。	12	11	第3章 微分法 第1節 導関数 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 曲線の方程式と導関数	定義に従って微分係数や導関数を求めることができ、微分可能と連続との関係を正確に理解することができるようにする。積・商、合成関数・逆関数の導関数の計算法を身につける。 三角関数、指数・対数関数、高次導関数を求めることができるようにする。媒介変数で表された関数の導関数を求めることができるようにする。	16
6	第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解する。定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 積分と面積の関係を理解し、活用できるようにする。	16	12			12
7			12	1	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ	導関数を用いて接線・法線の方程式を求めたり、グラフの増減に関する問題が解けるようにする。 第2次導関数を用いてグラフの正確な形が分かるようにする。	12
8	〈数学Ⅲ〉 第1章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	分数関数・無理関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 元の関数と逆関数の関係や合成関数の写像的な概念を理解する。	4	2			16
9	第2章 極限 第1節 数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	極限についての理解を深め、極限の性質や、無限の概念を用いて数列の極限を求めることができるようにする。 様々な式変形に対応し、無限等比級数の値を求めることができるようにする。	16	3	第2節 いろいろな応用 5. 方程式、不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式	グラフを利用して、方程式・不等式を解く。速度・加速度と微分の関係を理解し問題を解くことができ、近似式を用いて近似値を求めることができるようにする。	12

備考

教科名	数学	科目名	数学BC	単位数	4		
対象	高校2年(文系)	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適應できる能力をつけていくための応用力を養っていく。						
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。						
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 問題演習で途中の過程を丁寧に記述することを通じて、他人に納得してもらえる説明を書けるよう心がける。						
教科書・教材等	高等学校 数学B(数研出版)、高等学校 数学C(数研出版)、4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、4STEP 数学C(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式 基礎からの数学C(数研出版) 進研WINSEP数学ⅡBC Standard(ラーンズ) 改訂版 短期完成 統計的な推測ノート(数研出版)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学C> 第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。	12	10	指数・対数関数	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
5	5. ベクトルの 図形への応用 6. 座標空間における 図形	様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとしていくことができる。	12	11	微分法・積分法	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
6	<数学B> 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 5. 正規分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	16	12	数列	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12
7	第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布 8. 推定 9. 仮説検定	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにする。	12	1			
8	三角関数	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	4	2	ベクトル	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	16
9			16	3	統計的な推測	教科書例題レベルの問題を通して、定理・公式の基本的な使い方を確認する。また、模試・入試の問題を通して、重要なテーマの考え方・解法をマスターし、今の実力を測る。	12

備考

教 科 名	数学	科 目 名	数学BC	単 位 数	4
対 象	高校2年(理系)	履 修 形 態	必修	授 業 形 態	習熟度別
学 習 の 到達 目 標	① 数学について理解させ、基礎的な知識の習得と授業の充実を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。 ② 校外模試を意識した基礎力の充実と、応用力の育成を図る。				
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。				
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 問題演習で途中の過程を丁寧に記述することを通じて、他人に納得してもらえる説明を書けるよう心がける。				
教科書・教材等	高等学校 数学B(数研出版)、高等学校 数学C(数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B(数研出版)、4STEP 数学Ⅲ+C(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 改訂版 短期完成 統計的な推測ノート(数研出版)、クリアー数学演習ⅠⅡABC 受験編(数研出版)				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学C> 第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。	12	10	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。	16
5	5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形	様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとしていくことができる。	12	11	第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータの利用	曲線が媒介変数を用いて表される仕組みを理解し、様々な曲線の媒介変数表示について考察できるようにする。また、極座標の仕組みについて理解し、図形を極方程式で表したり、極方程式が表す図形を求めたりできるようにする。さらに、コンピュータを用いるなどして、様々な曲線についてその方程式や概形について、主体的に考察しようとする姿勢を養う。	16
6	<数学B> 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布 5. 正規分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	16	12			12
7	第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布 8. 推定 9. 仮説検定	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにする。	12	1	問題演習応答力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	12
8	<数学C> 第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	複素数平面に対応させ、極形式、ド・モアブルの定理を理解する。図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。図形の性質を複素数の計算を用いて考察できるようにする。	4	2	問題演習応答力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	16
9			16	3	問題演習応答力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	12

備考

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4		
対象	高校2年(理系)	履修形態	必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 化学の役割や物質の扱い方を理解する。 ② 物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価						
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。						
教科書・教材等	化学 Vol.1 理論編, 化学 Vol.2 物質編(東京書籍) センサー総合化学(啓林館), オリジナルテキスト						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	〔化学〕 第1編 物質の状態 第1章 物質の状態 1. 物質の三態 2. 気体・液体間の状態変化	・熱運動と三態について理解する。 ・分子間力と状態変化について理解する。	12	10	第3章 水溶液中の化学平衡 1. 電離平衡 2. 塩の水への溶解	・酸・塩基を化学平衡の視点から理解する。 ・水の電離平衡から、水のイオン積の成り立ちを理解し、対数を使ったpHの計算法を習得する。 ・溶解度積の計算を習得する。	16
5	第2章 気体の性質 1. 気体 2. 気体の状態方程式	・体積、温度、圧力など気体に共通する法則について学ぶ。 ・理想気体の状態方程式について学ぶ。 ・理想気体と実在気体の違いについて学ぶ。	12	11	第4編 無機物質 2章 非金属元素の単体と化合物 1. 水素と希ガス 2. ハロゲンとその化合物 3. 酸素・硫黄とその化合物 4. 窒素・リンとその化合物	・非金属元素の単体とその化合物について性質と用途を理解する。	16
6	第3章 溶液の性質 1. 溶解 2. 希薄溶液の性質 3. コロイド	・溶解のしくみや溶解量について学ぶ。 ・蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下などの溶液の性質を学ぶ。 ・コロイドの性質を学ぶ。	16	12	5. 炭素・ケイ素とその化合物		12
7	〔化学〕 第2編 化学反応とエネルギー 1. 結晶 2. 金属結晶の構造 3. イオン結晶の構造 4. 分子結晶と共有結合の結晶	・結晶の成り立ちとその構造について学ぶ。 ・アモルファスについて学ぶ。	12	1	3章 典型元素の単体と化合物 1. アルカリ金属とその化合物 2. 2族元素とその化合物 3. 1, 2族以外の典型元素とその化合物	・金属元素における単体とその化合物について性質と用途を理解する。	12
8			4	2	4章 遷移元素の単体とその化合物 1. 遷移元素とその化合物 2. 金属イオンの分離確認	・遷移元素における単体とその化合物について性質と用途を理解する。	16
9	第2章 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡 2. 平衡の移動	・化学平衡の法則を各平衡状態において考察する。 ・ルシャトリエの原理を理解する。	16	3	第5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 1. 有機化合物の特徴 2. 有機化合物の構造式の決定 第2章 炭化水素 1. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素	・有機化合物の特徴と分類の仕方を理解する。 ・化学式の決定方法について理解する。 ・飽和炭化水素、不飽和炭化水素の構造と性質を理解する。	12

備考

教 科 名	理科		科 目 名	物理		単 位 数	4
対 象	高校2年(理系)		履 修 形 態	選択		授 業 形 態	一斉
学 習 の 到 達 目 標	① 物理的な事物・現象についての関心・探究心を高め、概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然を探究する能力や態度を高める。						
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価						
学 習 方 法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。						
	物理基礎(数研出版)，物理(数研出版) センサー総合物理(啓林館)						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則	・運動量を理解し、運動量変化と力積の関係を理解する。 ・運動量保存則と反発係数の定義を正確に理解し、直線上の運動で使うことができる。	12	10	第3編 波 第1章 波の伝わり方 1. 正弦波 2. 波の伝わり方	・波を三角関数を導入し理解する。 ・波の干渉、屈折、回折を理解する。 ・波の示す屈折などの現象を理解する。	16
5	3. 反発係数 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動	・衝突、合体、分裂の場合に関して運動量保存則や反発係数の定義、力学的エネルギー保存則や相対速度を使い、衝突後の物体の運動を記述できる。	12	11	第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 2. 音のドップラー効果 第3章 光 1. 光の性質	・音のドップラー効果の公式を使うことができる。 ・光の示す屈折などの現象を知り、折の法則を使うことができる。	16
6	2. 慣性力	・等速円運動を理解し、力のつり合い運動方程式、力学的エネルギー保存則を使いこなし、物体の運動を記述できる。 ・慣性力を理解し、加速度運動上での物体の運動を記述できる。	16	12	2. レンズ 3. 光の干渉と回折	・レンズの公式を理解する。 ・ヤングの実験、回折格子について干渉の条件式を理解し、使うことができる。	12
7	3. 単振動 4. 万有引力	・単振動を身近な運動に関連づけ考察し、三角関数を用いて記述することで、物体の運動が理解できる。 ・ケプラーの法則を理解し、円運動および楕円運動の衛星に対して適切に当てはめて考察することができる。	12	1	第4編 電気と磁気 第1章 電場	・クーロンの法則、電場、電位、を理解し、点電荷がつくる電場電位を求めることができる。 ・コンデンサーの特性を理解し、直列、並列接続時の電気量を求めることができる。	12
8	第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則	・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則を理解する	4	2	第2章 電流	・複数の抵抗がある場合の合成抵抗の求め方や等価回路を作り方を理解し、複雑な回路でも抵抗のジュール熱を求められる。 ・キルヒホッフの法則を理解し、抵抗を流れる電流を求めることができる。	16
9	2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化	・状態方程式を使える。 ・熱力学第一法則を理解する。 ・ミクロな立場で、気体分子の運動を理解し、運動エネルギーと温度の関係性を理解する。 ・定圧変化、定積変化、等温変化、熱変化などのグラフを見て、熱力学第一法則を理解する。	16	3	第3章 電流と磁場	・電流が作る磁場について理解し状況ごとに書くことができる。 ・電流が磁場から受ける力について理解し適切に公式を使える。 ・ローレンツ力を理解し、円運動する荷電粒子の運動を記述できる。	12

備考

教科 科 名		理 科		科 目 名		生 物		単 位 数		4	
対 象		高校2年(理系)		履 修 形 態		選 択		授 業 形 態		一 斉	
学 習 の 到 達 目 標		① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。									
評 価 の 観 点 評 価 方 法		① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価									
学 習 方 法		① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に覚える。									
教科書・教材等		生物(東京書籍) センサー総合生物 (啓林館) , オリジナルテキスト									
年 間 授 業 計 画											
月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数	月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数
4	〔生物〕 1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化		・ 原始地球の環境について理解し、生命の起源がどのように誕生したかを考える。 ・ 無機物から有機物であるアミノ酸が合成できることを理解する。 ・ 細胞の起源について理解し、生命の誕生について理解する。 ・ RNAワールドからDNAワールドへの移行について理解を深める。		12	10			・ 生命活動を担うタンパク質の基本的な特徴を理解する。 ・ タンパク質がどのようにはたらくのかを理解する。 ・ いろいろな運動にかかわるタンパク質について理解する。 ・ 酵素のはたらきを中心に生体内の化学反応について理解する。		16
5	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ		・ シアノバクテリアの誕生と酸素濃度上昇の関係を理解する。 ・ 遺伝的変異が生じるしくみを理解する。 ・ 遺伝子レベルと染色体レベルで起こる突然変異の違いを理解する。 ・ 遺伝子の連鎖と独立について理解する。		12	11	2章 代謝とエネルギー		・ A T Pの役割や生物がどのようにエネルギーを獲得しているかを理解する。 ・ 呼吸と発酵のしくみについて理解する。 ・ 光合成のしくみについて理解する。		16
6			・ 進化の定義について理解する。 ・ 自然選択による進化が起こる条件について理解する。 ・ 遺伝子プールと遺伝子頻度についての理解する。 ・ 遺伝的浮動について理解する。 ・ ハーディ・ワインベルグの法則を理解する。 ・ 種分化のしくみを理解する。		16	12	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現		・ 動物と植物それぞれの窒素同化とそのしくみについて理解する。見られる相互作用について理解する。 ・ D N Aの構造とその複製について理解する。 ・ タンパク質が合成される過程と形質が発現する過程を理解する。		12
7	3章 生物の系統と進化		・ 形態や生態的特徴に基づく系統樹と、分子情報に基づく系統樹をそれぞれ作成し比較する。 ・ 分子時計についての理解を深める。 ・ 種と種名、階層的分類について理解する。		12	1	2章 発生と遺伝子発現		・ 細胞の形や機能の違いは、発現する遺伝子の違いであることを理解する。 ・ 大腸菌の環境に対する応答を理解する。 ・ 大腸菌変異株でのlacZの発現はどのように説明できるか考える。		12
8			・ 霊長類の進化と系統についての理解を深める。 ・ 初期の人類の特徴について理解する。 ・ 原人、旧人について理解する。 ・ ヒトの出現について理解する。 ・ これまでに学習した用語を使って、人類の進化について整理する。		4	2			・ 真核生物の遺伝子発現の調節について理解する。 ・ 受精卵から複雑な体ができる過程を理解する。 ・ 胚葉や組織が分化する細胞間で見られる相互作用について理解する。		16
9	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質		・ 生物を構成する物質を理解する。 ・ 生体膜の透過について理解する。 ・ 細胞の構造とはたらきを理解する。		16	3	3章 遺伝子を扱う技術		・ ショウジョウバエの発生の様子と発生をつかさどる遺伝子について理解する。 ・ 目的の遺伝子を取り出して調べる技術、遺伝子を操作する技術について理解する。		12

備考

教科 科 名	理科		科目 名		理科基礎演習		単 位 数		4		
対 象	高校2年(文系)		履 修 形 態		選択		授 業 形 態		一斉		
学 習 の 到達 目 標	① 化学・生物の基礎的な内容を理解する。 ② 科学に対する関心を高め、科学を探究する基礎的な方法を身につける。 ③ 基本的な概念を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。										
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価										
学 習 方 法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。										
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍)，生物基礎（東京書籍） センサー総合化学(啓林館)，センサー総合生物（啓林館），オリジナルテキスト										
年 間 授 業 計 画											
月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数	月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数
4	物質の成分 物質の構成元素 物質の三態 原子の構造 元素の性質と周期律		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12	10	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩の生成 中和滴定		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		16
5	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12	11	さまざまな植生 植生と遷移 気候とバイオーム		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		16
6	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 物質の分類		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		16	12	酸化と還元 酸化算と還元剤 金属と酸化還元反応 電池・電気分解		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12
7	遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12	1	生態系 物質循環とエネルギー 生態系のバランス 生態系の保全		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12
8	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と量的関係		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		4	2	化学と人間生活		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		16
9	体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモン		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		16	3	生物と人間生活		オリジナルテキストの演習問題に取り組みながら、基礎事項をおさえる。		12

備考

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物を含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各種目（内容）の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てることができる。	6	10	球技：ゴール型 （サッカー/フットサル）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	8
5	陸上競技	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる。 記録の向上や競争の楽しさを味わい、各種目特有の技能を高めることができる。	6	11			8
6			8	12	球技：ゴール型 （バスケットボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	6
7	球技：ベースボール型 （ソフトボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ベースボール型では状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	6	1			6
8			2	2	球技：ネット型 （バドミントン/卓球）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	8
9	球技：ゴール型 （サッカー/フットサル）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	8	3			6

備考 気象状況（猛暑）による運動禁止や制限によって、学習内容の変更があり得る。

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1		
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 保健分野における知識をテストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。						
学習方法	① 教科書・資料を用いた学習						
教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館書店）						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	生涯の各段階における健康	生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかっていること。	3	10			4
5			3	11	環境と健康	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策を取る必要があること。	4
6	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。	4	12			3
7		また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。	3	1	環境と健康食品の健康	環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものにしよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。	3
8	様々な保健活動や対策	我が国や世界では、健康課題に応じて様々な保健活動や対策が行われていること。	1	2	労働と健康	労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。	4
9			4	3			3

備考

教科名	外国語	科目名	英コミⅡ、論表Ⅱ	単位数	6		
対象	高校2年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 必要な情報を得て、話し手や書き手の意図を把握したり概要や要点を目的に応じてとらえたりすることができる。 ② 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ③ 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して発信することができる。						
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができるかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）						
学習方法	① 本文を読んでその内容を、文構造や文脈、論旨など様々な面から理解する。 ② 音声教材を利用するや音読を通して、リスニング（スピーキング）対策に努める。 ③ 大学受験に向け、受験対策問題や過去問題に積極的に取り組む。						
教科書・教材等	教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ（東京書籍） FACTBOOK English Logic and Expression Ⅱ（桐原書店） 副教材 GRAMMARMASTER（Z会） 無双英語 速読英単語＜入門編・必修編＞（Z会） 大学入試過去問題対策等						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	補助教材・副教材を用いて 大学受験対策演習 ＊教科書は必要に応じて使用する。	長文を読んでいく中で、パラグラフの構造を理解し、筆者の述べたいポイントをつかみ、場合によっては要約に取り組む。	18	10	補助教材・副教材を用いて 大学受験対策演習 ＊教科書は必要に応じて使用する。	各パラグラフの論理関係、展開を追い、文章全体の意味を把握する。	24
5			18	11			24
6			24	12			18
7			18	1			18
8	復習及び発展内容			2	補助教材・副教材を用いて 大学受験対策演習 ＊教科書は必要に応じて使用する。	パラグラフリーディングを通し、文章全体の要約に取り組む。 情報を正確に素速く処理し文章を読む。	24
			6				
9	補助教材・副教材を用いて 大学受験対策演習 ＊教科書は必要に応じて使用する。	各パラグラフのポイントを理解し、パラグラフどうしの論理的な関係をつかむ。	24	3			18

備考 学習・演習内容や使用教材などは、クラスにより異なる。

教科 科 名	外国語	科 目 名	GSE英語	単 位 数	1
対 象	高校2年	履 修 形 態	必修	授 業 形 態	習熟度別
学 習 の 到達 目 標	① 必要な情報を得て、話し手や書き手の意図を把握したり概要や要点を目的に応じてとらえたりすることができる。 ② 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ③ 英語でプレゼンテーションを行うことができる。				
学 習 方 法	① 英文を読んだり聞いたりして英語の語彙を増やす。 ② ディスカッションを通してスピーキング能力を高める。				
教科書・教材等	独自教材				
年 間 授 業 計 画					
学習内容			学習の狙い		
<βクラス> - 最新のニュースから身近な事柄まで興味を持った事柄、疑問に思った事について、クラスでテーマを設定し、各々が英語での情報収集、分析を行い、論理的に持論を構築する。 - 自然科学に関する問題・テーマについて英語で考える。気候変動、エネルギー、貧困、人口、文化、医療、異文化、労働、多様性のある社会の実現、食糧等 - 社会問題を考えるうえで必要な語彙を学ぶ。 - ディスカッションを行い、事象の理解を深める。 - 英語での論文の書き方を身につける。 - プレゼンテーション			<βクラス> - 社会事象に関する基礎的な単語やイディオムを学び、英語で文章を組み立てることができる。 - 科学、IT、環境問題などから疑問点を深く掘り下げ、考察する力を養う。 - 問題解決のために何ができるかを考察し、仮説を立て論理的検証を重ねる。 - 様々な分野における英文での論文に対して、客観的に向き合う力を養う。 - 英語でプレゼンテーションを行うことができる。		
<αクラス> - 社会の抱える以下のような諸問題について英語で考える。気候変動、エネルギー、貧困、人口、文化、医療、異文化、労働、多様性のある社会の実現、食糧等 - 英語で行われる研究発表例を参照し、プレゼンテーションの行い方を学ぶ。 - ディスカッションを行い、事象の理解を深める。 - プレゼンテーション			<αクラス> - 社会事象に関する表現を学び、英語で自分の意見を述べるができる。 - 英字新聞やネットニュースなどから最新のニュースを聞いたり読んだりすることで現代社会の動向を学ぶ。 - 実際の発表動画からプレゼンテーションに必要な技能を身につける。 - 論理的に思考し、まとまりのある文章で意見を言うことができる。 - 英語で5～10分程度のプレゼンテーションを行うことができる。		

湯梨浜学園

VICTORY
LIST

湯梨浜学園 VICTORY LIST 国語

		論理的文章		文学的文章		古文		漢文	
高校2年	1学期	☐	構成・展開・要旨を考えた上で筆者の書いた文章を理解できる。			☐	敬語の仕組みを理解し、敬意の対象・方向が分かる。	☐	漢文の句法(限定・累加・仮定・抑揚)が分かる。
		☐	自分の意見を正しい構成で文章にすることができる。			☐	助動詞の接続、用法が理解できており、正しい現代語訳をすることができる。	☐	漢文の句法・単語を生かして、2ページ程度の文章の大意を読み取ることができる。
		☐	その作品独特の表現の特徴に気づき、他者に発表できる力がある。			☐	学習した助詞・副詞(呼応の副詞など)などが分かる		
						☐	古典文法・単語を生かして、1ページほどの文章を概ね読解できる。		
		☐ 推薦・AO入試の面接に向けて、志望動機や将来の志望を、相手に伝える準備ができている。							
	☐ 「必修語彙ノート」の発展編が7割以上分かる。					☐ 「サクラサク古文単語」レベルAの単語が9割以上分かる。			
	2学期	☐	批判的文章内の筆者の要旨を掴み、問題を解く際のヒントとして使うことができる。	☐	抽象的・観念的な小説に含まれた筆者のメッセージに気づき、設問に答えられる力がある。	☐	古文常識や和歌の修辞法を理解し、登場人物の心情を捉えることができる。	☐	今まで学習した句法を踏まえて読解をすることができる。
						☐	敬語の用法が理解でき主語把握や正しい現代語訳をすることができる。	☐	漢詩の押韻、対句などのルールを理解し、心情や社会情勢を読み取れる。
						☐	助動詞・助詞の識別問題を理解し、完答する力がある。	☐	漢文の史話を読解し、登場人物の心情や、置かれた状況を概ね読み取ることができる。
		☐ 与えられた資料やグラフから必要な情報を抽出し、構成メモに起こすことができる。							
		☐ 大学入試の面接に向けて自分の意見を書き出すことができる。							
	☐ 「必修語彙ノート」の発展編が8割以上分かる。					☐ 「サクラサク古文単語」レベルA・Bの単語が9割以上分かる。			
	3学期	☐	初見の評論問題を読解し、設問に正確に解答することができる。	☐	小説の問題の主題を捉えることができ、問いに対する解答の仕方を身に付けている。	☐	和歌の贈答歌、引き歌などの修辞の知識を基に読解することができる。	☐	共通テストレベルの問題であれば、句法・単語を基に概ね逐語訳できる力がある。
						☐	複数の主語が登場する文章でも、内容を読み取れる。	☐	漢文単語や文法の知識から初見の漢文の問題も効率よく消去法が行える。
						☐	和歌、古典文学の流れが理解できており、共通テストレベルの問題にも対応できる。		
		☐ 大学入試過去問に積極的に取り組み実践力を付けている。							
		☐ 「必修語彙ノート」の発展編が分かる9割以上分かる。					☐ 「サクラサク古文単語」レベルA～Cの単語が9割以上分かる。		

湯梨浜学園 VICTORY LIST 世界史

番号		内容
1	☐	オリエント文明の盛衰やイラン人の活動を理解できている。
2	☐	エーゲ文明、そしてギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解できている。
3	☐	共和政ローマ時代の政治の変遷を理解できている。
4	☐	帝政ローマ時代の社会、キリスト教との関係を理解できている。
5	☐	インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解できている。
6	☐	中国文明の起源から殷・周の成立まで理解できている。
7	☐	諸子百家の思想を説明できる。
8	☐	秦・漢帝国の動向、この時代に中国王朝の体制(儒教の官学化、朝貢)ができあがったことを理解する。
9	☐	先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。
10	☐	アジアの遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。
11	☐	北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代の文化を理解できている。
12	☐	隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解できている。
13	☐	イスラーム成立の背景とその特質を理解できている。
14	☐	アラブ人によるイスラーム帝国の発展の要因を理解できている。
15	☐	トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化など、イスラーム世界の形成と拡大の過程を理解できている。
16	☐	地中海世界の崩壊後、キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界が東西に形成され、変動していった過程と両世界それぞれの独自の性格を理解できている。
17	☐	中世における封建社会の成立、教会の権威の盛衰について理解できている。
18	☐	東ヨーロッパ世界の成立(ビザンツ帝国の歴史・スラヴ人の歴史)について理解できている。
19	☐	内陸アジアの自然と風土、遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。
20	☐	モンゴル帝国が東西の道を獲得し大帝国となっていたことを説明できる。
21	☐	モンゴル帝国の活動が諸地域世界(ヨーロッパ、イスラーム圏)に与えた影響の大きさを理解できている。
22	☐	明・清帝国と朝鮮や日本の関係、東南アジア世界の動向を理解できている。
23	☐	トルコ・イランからインドに誕生したイスラーム帝国の動向を理解できている。
24	☐	大航海時代の到来、ルネサンスと宗教改革といったヨーロッパ世界の拡大と変革の動きを理解できている。
25	☐	主権国家体制の特色と、それを形成したヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解できている。
26	☐	17～18世紀におけるヨーロッパ諸国の動きを、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解できている。
27	☐	ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解できている。
28	☐	イギリス産業革命の背景と展開とその影響について理解できている。
29	☐	アメリカ独立革命の背景と展開とその影響について理解できている。
30	☐	フランス革命の背景と展開とその影響について理解できている。
31	☐	ラテンアメリカ諸国の独立と、合衆国の発展について理解する。
32	☐	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動について理解できる。
33	☐	列強体制の動揺とヨーロッパの再編について理解できる。
34	☐	アメリカ合衆国の発展について理解できる。
35	☐	19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄について理解できる。
36	☐	西アジア地域の変容について理解できる。
37	☐	南アジア・東南アジアの植民地化について理解できる。
38	☐	東アジアの激動について理解できる。
39	☐	第2次産業革命と帝国主義について理解できる。

番号		内容
40	☐	列強の世界分割と列強体制の二分化について理解できる。
41	☐	アジア諸国の変革と民族運動について理解できる。
42	☐	第一次世界大戦とロシア革命について理解できる。
43	☐	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について理解できる。
44	☐	アジア・アフリカ地域の民族運動について理解できる。
45	☐	世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について理解できる。
46	☐	第二次世界大戦について理解できる。
47	☐	新しい国際秩序の形成について理解できる。
48	☐	冷戦の展開について理解できる。
49	☐	第三世界の台頭とキューバ危機について理解できる。
50	☐	冷戦体制の動揺について理解できる。
51	☐	産業構造の変容について理解できる。
52	☐	冷戦の終結について理解できる。
53	☐	今日の世界について理解できる。
54	☐	現代文明の諸相について理解できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 日本史

番号		内容
1	☐	地質学上の時代区分が理解できる。
2	☐	旧石器時代の道具の特徴が理解できる。
3	☐	旧石器時代と縄文時代の日本の気候の違いが理解できる。
4	☐	打製石器と磨製石器の特徴が理解できる。
5	☐	弥生時代の農業の発達が理解できる。
6	☐	弥生時代の集落の特徴を、縄文時代と比較して説明できる。
7	☐	金属器の使用と地域分布が理解できる。
8	☐	古代中国とのかかわりについて書かれた史料を読み取ることができる。
9	☐	邪馬台国の政治の特徴が理解できる。
10	☐	古墳時代の古墳形態・内部構造が理解できる。
11	☐	古墳時代の古墳形態・内部構造と被葬者の性格を関連づけられる。
12	☐	ヤマト政権が用いた氏姓制度の特徴が理解できる。
13	☐	ヤマト政権と豪族がそれぞれ経済基盤とした土地の用語が理解できる。
14	☐	倭の五王が中国南朝を訪れた理由が説明できる。
15	☐	推古朝の政治の特徴が理解できる。
16	☐	飛鳥文化における仏像の特徴が理解できる。
17	☐	大化の改新による政治の特徴が理解できる。
18	☐	壬申の乱後の政治の特徴が理解できる。
19	☐	律令制度と班田収授法に関する問題が解ける。
20	☐	奈良時代の政治の特徴が理解できる。
21	☐	藤原氏による他氏排斥事件に関する問題が解ける。
22	☐	鎮護国家思想と行基の活動に関する問題が解ける。
23	☐	初期荘園が形成された過程を理解できる。
24	☐	天平文化の仏像の特徴が理解できる。
25	☐	長岡京から平安京への遷都に至った理由が説明できる。
26	☐	桓武天皇の政策が理解できる。
27	☐	嵯峨天皇の政策が理解できる。
28	☐	表を読み取り、戸籍による班田収授が困難となった理由を説明できる。
29	☐	弘仁・貞観文化の特徴が理解できる。
30	☐	藤原北家とそれにまつわる排斥事件が理解できる。
31	☐	摂関政治の特徴が理解できる。
32	☐	国風文化の文学に関する問題が解ける。
33	☐	浄土信仰に裏打ちされた国風文化の特徴が理解できる。
34	☐	国司による暴政を史料を読み取って理解できる。
35	☐	寄進地系荘園に至るまでの荘園と国司の関係が理解できる。
36	☐	10世紀の武士団の反乱が理解できる。
37	☐	11世紀における源氏と平氏の台頭について理解できる。
38	☐	院政における政治のしくみが理解できる。

番号		内容
39	☐	院政に抵抗する勢力と神木(神輿)の関係が理解できる。
40	☐	平氏政権の成立から滅亡までのできごとが理解できる。
41	☐	源氏による政権の政治の特徴が理解できる。
42	☐	北条氏による政策の特徴が理解できる。
43	☐	下地中分について、図を見て特徴が理解できる。
44	☐	蒙古襲来における日本の防御の過程が理解できる。
45	☐	蒙古襲来後の日本の政治の変化について理解できる。
46	☐	鎌倉仏教と旧仏教の教義が理解できる。
47	☐	鎌倉幕府滅亡から高(尊)氏政権樹立までの過程が理解できる。
48	☐	建武の新政の特徴が理解できる。
49	☐	守護大名が有する権限が理解できる。
50	☐	足利義満による政治の特徴が理解できる。
51	☐	日明貿易について、足利将軍による対応の違いについて説明できる。
52	☐	日朝貿易と守護大名とのかかわりが理解できる。
53	☐	応仁の乱をはじめとした、反乱の結果が理解できる。
54	☐	惣村の成立過程が理解できる。
55	☐	土一揆・国一揆・一向一揆の発生地や求めた内容、結果が理解できる。
56	☐	室町時代の農業の発達を、史料を通して理解できる。
57	☐	室町時代の産業の特徴を理解できる。
58	☐	北山文化の特徴が理解できる。
59	☐	東山文化の特徴が理解できる。
60	☐	応仁の乱後の戦国大名の政策が理解できる。
61	☐	南蛮貿易とキリスト教の関係が理解できる。
62	☐	織田信長の政治の特徴が理解できる。
63	☐	豊臣秀吉の政治の特徴が理解できる。
64	☐	桃山文化の特徴が理解できる。
65	☐	江戸幕府の成立過程が理解できる。
66	☐	初期の外交における鎖国への過程が理解できる。
67	☐	寛永期の文化についての問題が解ける。
68	☐	江戸時代の農民統制について理解できる。
69	☐	徳川家綱から始まった文治政治の政策が理解できる。
70	☐	徳川綱吉の政策が理解できる。
71	☐	徳川綱吉・新井白石の時代における通貨改鑄の目的の違いが理解できる。
72	☐	江戸時代の農具の発達・農書について理解できる。
73	☐	江戸時代の各地域の産物に関する問題が解ける。
74	☐	元禄文化の特徴が理解できる。
75	☐	元禄期の学問について理解できる。
76	☐	享保の改革の政策が理解できる。
77	☐	一揆と打ちこわしについての問題が解ける。
78	☐	田沼時代の政策の特徴と結果が理解できる。
79	☐	宝暦の文化の特徴が理解できる。
80	☐	寛政の改革の政策が理解できる。

番号		内容
81	☐	18世紀末の列強の接近について、人物名と関係した土地を結び付けて理解できる。
82	☐	化政文化の特徴が理解できる。
83	☐	大御所時代の政策が理解できる。
84	☐	天保の改革の政策が理解できる。
85	☐	雄藩の財政難を克服した政策が理解できる。
86	☐	開国貿易と幕末の政治過程が理解できる。
87	☐	明治新政府の政策が理解できる。
88	☐	二度の大戦を含む明治外交が理解できる。
89	☐	自由民権運動と帝国議会について理解できる。
90	☐	明治の文化について理解できる。
91	☐	大正政変と第1次世界大戦について理解できる。
92	☐	ワシントン体制と第二次護憲運動について理解できる。
93	☐	金融恐慌から山東出兵の流れが理解できる。
94	☐	金解禁と昭和恐慌が理解できる。
95	☐	満州事変と日中戦争について理解できる。
96	☐	第二次世界大戦について理解できる。
97	☐	政党政治の復活と経済の再建について理解できる。
98	☐	冷戦と朝鮮戦争について理解できる。
99	☐	高度経済成長期の日本の出来事が理解できる。
100	☐	55年体制の成立から崩壊に至るまでの政策が理解できる。
101	☐	1980年代の日本経済の特徴が理解できる。
102	☐	1990年代から2000年代における政策が理解できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 地理

番号		内容
1	☐	地体構造に関する問題が解ける。
2	☐	ケッペンの気候区分とハイサーグラフ・雨温図・降水量のグラフの特徴が結び付けられる。
3	☐	世界の地球環境問題の特徴が理解できる。
4	☐	世界の農業で、作物の分布に関する問題が解ける。
5	☐	世界の林業で、統計データに関する問題が解ける。
6	☐	世界の漁業で、漁場と統計に関する問題が解ける。
7	☐	天然資源の特徴が理解できる。
8	☐	天然資源の分布の特徴が理解できる。
9	☐	世界の工業の地域的な特徴が理解できる。
10	☐	交通機関の特性が理解できる。
11	☐	地域による情報格差と国民総所得の関係が理解できる。
12	☐	先進国の人口分布の特徴が理解できる。
13	☐	途上国の人口増加の特徴が理解できる。
14	☐	日本の戦後の人口問題の経緯が理解できる。
15	☐	日本の村落の特徴を、地形図や写真をもとにして理解できる。
16	☐	日本の都市計画が理解できる。
17	☐	世界の都市の特徴が理解できる。
18	☐	宗教や気候に根差した衣服の特徴が理解できる。
19	☐	言語分布に関する問題が解ける。
20	☐	世界の内戦・紛争についての問題が解ける。
21	☐	中国の気候・地形に関する問題が解ける。
22	☐	中国の農業の特徴が理解できる。
23	☐	中国の工業の特徴が理解できる。
24	☐	韓国の工業の特徴が理解できる。
25	☐	東南アジアの地形の特徴が理解できる。
26	☐	東南アジアの農業の特徴が理解できる。
27	☐	東南アジアの工業の特徴が理解できる。
28	☐	南アジアの気候の特徴が理解できる。
29	☐	南アジアの農業の特徴が理解できる。
30	☐	南アジアの工業の特徴が理解できる。
31	☐	南アジアの宗教分布が理解できる。
32	☐	西アジアの気候の特徴が理解できる。
33	☐	西アジアの工業の特徴が理解できる。
34	☐	西アジアの人口分布の特徴が理解できる。
35	☐	中央アジアの気候の特徴が理解できる。
36	☐	アフリカの気候の特徴が理解できる。
37	☐	アフリカの農業の特徴が理解できる。
38	☐	アフリカの民族分布の特徴が理解できる。
39	☐	アフリカの貿易の特徴が理解できる。
40	☐	ヨーロッパの気候の特徴が理解できる。

番号		内容
41	☐	ヨーロッパの農業の特徴が理解できる。
42	☐	ヨーロッパの工業の特徴が理解できる。
43	☐	ヨーロッパの貿易の特徴が理解できる。
44	☐	複数の言語が公用語となっている国の言語分布が理解できる。
45	☐	アングロアメリカの気候の特徴が理解できる。
46	☐	アングロアメリカの農業の特徴が理解できる。
47	☐	アングロアメリカの工業の特徴が理解できる。
48	☐	アングロアメリカの人種分布の特徴が理解できる。
49	☐	ラテンアメリカの気候の特徴が理解できる。
50	☐	ラテンアメリカの農業の特徴が理解できる。
51	☐	ラテンアメリカの工業の特徴が理解できる。
52	☐	ラテンアメリカの人種分布の特徴が理解できる。
53	☐	オセアニアの自然と第一次・第二次産業の特徴が理解できる。
54	☐	オーストラリアの社会や世界とのつながりの特徴が理解できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学理系

学期	番号	内容
1学期	1	☐ ベクトルを利用して平面上の3点が一直線上にあるときの条件を理解している
	2	☐ チェバ・メネラウスの定理にベクトルを利用できる
	3	☐ 直線のベクトル方程式を理解している
	4	☐ 円にベクトルを利用できる
	5	☐ 空間上のベクトルを平面ベクトルの拡張としてとらえることができる
	6	☐ 空間のベクトルの成分を利用した計算ができる
	7	☐ 空間の点とベクトルの成分の関係を理解している
	8	☐ ベクトルの内積を、平面から空間に拡張して利用できる
	9	☐ ベクトルのなす角をもとめることができる
	10	☐ ベクトルの垂直条件を計算に利用できる
	11	☐ 四面体を位置ベクトルで考察できる
	12	☐ 空間における平面を、位置ベクトルで考察できる
	13	☐ ベクトルの分解を利用し、計算に利用できる
	14	☐ 空間の図形の性質を、内積を利用して証明できる
	15	☐ 2点間の距離の公式を理解している
	16	☐ 球面の方程式が求められる
	17	☐ 球面と平面が交わってできる図形を求めることができる
	18	☐ 球面の方程式から中心や半径を読み取ることができる
	19	☐ 不定積分の計算ができる
	20	☐ 不定積分の定義や性質を理解している
	21	☐ 与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる
	22	☐ 定積分の定義や性質を理解している
	23	☐ 定積分を含む関数を求めることができる
	24	☐ 直線や曲線で囲まれた面積を求めることができる
	25	☐ 絶対値のついた定積分の計算方法を理解している
	26	☐ 分数関数の定義を理解し、グラフをかくことができる
	27	☐ 連立方程式を解くことで、分数関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる
	28	☐ グラフを利用することで、分数方程式、分数不等式を解くことができる
	29	☐ 無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる
	30	☐ 無理関数のグラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする
	31	☐ 連立方程式を解くことで、無理関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる
	32	☐ グラフを利用することで、無理方程式、無理不等式を解くことができる
	33	☐ 逆関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の逆関数を求めることができる
	34	☐ 合成関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の合成関数を求めることができる
	35	☐ 簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる
	36	☐ 不定形を解消するなど、数列の式を適切に変形することで、収束・発散を調べることができる
	37	☐ 数列の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる
	38	☐ 無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる
	39	☐ 無限等比数列を、公比の値で場合分けし、その極限を考察することができる
	40	☐ 漸化式で表された数列の一般項を求め、数列の極限を求めることができる
2学期	1	☐ 確率変数の確率分布を求めることができる
	2	☐ 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる
	3	☐ 確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用することができる
	4	☐ 確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる
	5	☐ 独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる
	6	☐ 独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる
	7	☐ 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる

学期	番号	内容
2学期	8	☐ 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる
	9	☐ 連続型確率変数について、確率を求めることができる
	10	☐ 正規分布に従う確率変数 X を標準正規分布に従う確率変数 Z に変換できる
	11	☐ 標準正規分布に従う確率変数 Z についての確率を求めることができる
	12	☐ 標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる
	13	☐ 二項分布に従う確率変数についての確率を正規分布を利用して求めることができる
	14	☐ 母平均、母標準偏差を求めることができる
	15	☐ 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる
	16	☐ 標本平均の分布と正規分布の関係について理解している
	17	☐ 信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる
	18	☐ 仮説検定の問題を正規分布を利用して解くことができる
	19	☐ 両側検定、片側検定の違いを理解している
	20	☐ 極形式の定義を理解し、複素数を極形式で表すことができる
	21	☐ 複素数の積、商の絶対値、偏角の性質を理解し、それらを求めることができる
	22	☐ ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を求めることができる
	23	☐ 複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用して n 乗根を求めることができる
	24	☐ 線分の内分点、外分点や三角形の重心を表す複素数を理解し、求めることができる
	25	☐ 複素数の方程式を満たす点全体について考察し、その意味を考えることや計算で求めることができる
	26	☐ 複素数の乗法の図形的意味を活用して、点 β を、点 α を中心として θ だけ回転した点を求めることができる
	27	☐ 半直線のなす角を複素数で表すことを理解し、角度や複素数を求めることができる
	28	☐ 複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し、それを活用することができる
	29	☐ 無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散を調べられる
	30	☐ 無限等比級数の収束条件を理解し、それを利用できる
	31	☐ 無限等比級数の知識を利用して、数学的に循環小数を分数で表すことができる
	32	☐ 無限級数の和の性質について理解し、それを用いて無限級数の和が求められる
	33	☐ 無限級数の収束、発散を判定する条件を理解し、それを利用できる
	34	☐ 簡単な関数の $x \rightarrow a$ のときの極限を求めることができる
	35	☐ 不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる
	36	☐ 極限の等式を成り立たせる必要条件を求めて、その十分性を確認することで関数の式の係数を決定することができる
	37	☐ 関数の極限が、正・負の無限大に発散する場合を調べられる
	38	☐ 関数の右側極限、左側極限、関数の極限の有無について考察することができる
	39	☐ 不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる
	40	☐ 指数関数、対数関数の極限が求められる
	41	☐ 関数の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる
	42	☐ 三角関数を含む様々な関数の極限值を求めることができる
	43	☐ 三角関数の極限を応用して、図形的な問題を処理することができる
	44	☐ 定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる
	45	☐ 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる
	46	☐ 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる
	47	☐ 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる
	48	☐ 三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	49	☐ 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる
	50	☐ 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる

学期	番号	内容
2学期	51	☐ 導関数の性質, 積の導関数, 商の導関数, 合成関数の導関数, 逆関数の微分法を理解し, 種々の導関数の計算に利用することができる
	52	☐ 三角関数の導関数を理解し, 三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	53	☐ 自然対数 e の定義と, 対数関数の導関数を理解し, 対数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	54	☐ 対数微分法を利用して, 複雑な関数を微分することができる
	55	☐ 指数関数の導関数を理解し, 指数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	56	☐ 高次導関数の定義, 表記を理解し, 種々の関数の高次導関数を求めることができる
	57	☐ 方程式 $F(x, y)=0$ を関数とみて, 合成関数の導関数を利用して微分することができる
	58	☐ 媒介変数 t で表された関数の導関数を, t の関数として表すことができる
3学期	1	☐ 放物線の方程式から, 概形をかき, 焦点, 準線を求めることができる
	2	☐ 焦点が y 軸上にある放物線について, 概形をかき, 焦点, 準線を求めることができる
	3	☐ 楕円の方程式から, 概形をかき, 焦点, 長軸の長さ, 短軸の長さを求めることができる
	4	☐ 焦点の座標などから, 楕円の方程式を求めることができる
	5	☐ 焦点が y 軸上にある楕円について, 概形をかき, 焦点, 長軸の長さ, 短軸の長さを求めることができる
	6	☐ 双曲線の方程式から, 概形をかき, 焦点, 頂点, 漸近線を求めることができる
	7	☐ 焦点が y 軸上にある双曲線について, 概形をかき, 焦点, 頂点, 漸近線を求めることができる
	8	☐ 焦点の座標などから, 双曲線の方程式を求めることができる
	9	☐ 2次曲線と直線の位置関係を, 2次方程式の実数解の個数で考察することができる
	10	☐ 2次曲線と直線の交点や弦の中点の座標を求めることができる
	11	☐ 2次曲線の接線の方程式を求めることができる
	12	☐ 媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる
	13	☐ 円, 楕円, 双曲線を媒介変数表示できる
	14	☐ 点の座標について, 直交座標と極座標を相互に変換できる
	15	☐ 簡単な曲線を極方程式で表すことができる
	16	☐ 平面上の曲線について, x, y の方程式と極方程式を相互に変換できる
	17	☐ 微分係数の意味を理解しており, 接線の方程式を求めることができる
	18	☐ 公式を利用して, 法線の方程式を求めることができる
	19	☐ 傾きや通る 1 点から接線の方程式を求めることができる
	20	☐ $F(x, y)=0$ で表された曲線の接線の方程式を, 陰関数の微分法を利用して求められる
	21	☐ 平均値の定理を利用して, 不等式を証明する方法を理解している
	22	☐ 導関数の符号と関数の増減の関係を理解し, 導関数を利用して関数の増減が調べられる
	23	☐ 導関数を利用して, 関数の極値が求められる
	24	☐ 関数の極値が与えられたとき, 必要十分条件に注意して関数を決定することができる
	25	☐ 導関数を利用して, 関数の最大値・最小値を求めることができる
	26	☐ 関数の増減, 凹凸, 変曲点, 漸近線, 定義域, $x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態などを調べてグラフをかくことができる
	27	☐ 第 2 次導関数と極値の関係を理解し, 第 2 次導関数を利用して極値を求めることができる
	28	☐ 導関数を利用して, 不等式を証明することができる
	29	☐ 方程式 $f(x)=a$ の実数解の個数を, 関数 $y=f(x)$ のグラフと直線 $y=a$ の共有点の個数に読み替えて考察できる
	30	☐ 直線上を運動する点の速度・加速度を基に, 平面上を運動する点の速度・加速度を考察する
	31	☐ 直線上や平面上を運動する点の速度, 速さ, 加速度の定義を理解し, 点の座標が与えられたときにそれらを求めることができる
	32	☐ 等速円運動の定義を理解し, 等速円運動をしている点の速度, 加速度を求めることができる
	33	☐ 不定積分の定義や性質を理解し, それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる
	34	☐ 被積分関数の形の特徴から, 置換積分法や部分積分法を利用して, 不定積分を求めることができる
	35	☐ 様々な工夫によって被積分関数を変形することで, 不定積分を求めることができる

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学Ⅱ(理系)

学期	番号	内容
1学期	1	☐ 不定積分の計算ができる
	2	☐ 不定積分の定義や性質を理解している
	3	☐ 与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる
	4	☐ 定積分の定義や性質を理解している
	5	☐ 定積分を含む関数を求めることができる
	6	☐ 直線や曲線で囲まれた面積を求めることができる
	7	☐ 絶対値のついた定積分の計算方法を理解している
	8	☐ 分数関数の定義を理解し、グラフをかくことができる
	9	☐ 連立方程式を解くことで、分数関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる
	10	☐ グラフを利用することで、分数方程式、分数不等式を解くことができる
	11	☐ 無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる
	12	☐ 無理関数のグラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする
	13	☐ 連立方程式を解くことで、無理関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる
	14	☐ グラフを利用することで、無理方程式、無理不等式を解くことができる
	15	☐ 逆関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の逆関数を求めることができる
	16	☐ 合成関数の定義や求める手順を理解し、種々の関数の合成関数を求めることができる
	17	☐ 簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる
	18	☐ 不定形を解消するなど、数列の式を適切に変形することで、収束・発散を調べることができる
	19	☐ 数列の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる
	20	☐ 無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる
	21	☐ 無限等比数列を、公比の値で場合分けし、その極限を考察することができる
	22	☐ 漸化式で表された数列の一般項を求め、数列の極限を求めることができる
2学期	1	☐ 無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散を調べられる
	2	☐ 無限等比級数の収束条件を理解し、それを利用できる
	3	☐ 無限等比級数の知識を利用して、数学的に循環小数を分数で表すことができる
	4	☐ 無限級数の和の性質について理解し、それを用いて無限級数の和が求められる
	5	☐ 無限級数の収束、発散を判定する条件を理解し、それを利用できる
	6	☐ 簡単な関数の $x \rightarrow a$ のときの極限を求めることができる
	7	☐ 不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる
	8	☐ 極限の等式を成り立たせる必要条件を求めて、その十分性を確認することで関数の式の係数を決定することができる
	9	☐ 関数の極限が、正・負の無限大に発散する場合を調べられる
	10	☐ 関数の右側極限、左側極限、関数の極限の有無について考察することができる
	11	☐ 不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形することで、関数の極限を求めることができる
	12	☐ 指数関数、対数関数の極限が求められる
	13	☐ 関数の式の変形が容易でない場合、「はさみうちの原理」を用いて極限を考察することができる
	14	☐ 三角関数を含む様々な関数の極限值を求めることができる
	15	☐ 三角関数の極限を応用して、図形的な問題を処理することができる
	16	☐ 定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる
	17	☐ 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる

学期	番号	内容
2学期	18	☐ 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる
	19	☐ 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる
	20	☐ 三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	21	☐ 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる
	22	☐ 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができる
	23	☐ 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる
	24	☐ 三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	25	☐ 自然対数 e の定義と、対数関数の導関数を理解し、対数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	26	☐ 対数微分法を利用して、複雑な関数を微分することができる
	27	☐ 指数関数の導関数を理解し、指数関数を含む種々の関数の導関数を計算できる
	28	☐ 高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる
	29	☐ 方程式 $F(x, y) = 0$ を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分することができる
	30	☐ 媒介変数 t で表された関数の導関数を、 t の関数として表すことができる
3学期	1	☐ 微分係数の意味を理解しており、接線の方程式を求めることができる
	2	☐ 公式を利用して、法線の方程式を求めることができる
	3	☐ 傾きや通る 1 点から接線の方程式を求めることができる
	4	☐ $F(x, y) = 0$ で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められる
	5	☐ 平均値の定理を利用して、不等式を証明する方法を理解している
	6	☐ 導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減が調べられる
	7	☐ 導関数を利用して、関数の極値が求められる
	8	☐ 関数の極値が与えられたとき、必要十分条件に注意して関数を決定することができる
	9	☐ 導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる
	10	☐ 関数の増減、凹凸、変曲点、漸近線、定義域、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態などを調べてグラフをかくことができる
	11	☐ 第 2 次導関数と極値の関係を理解し、第 2 次導関数を利用して極値を求めることができる
	12	☐ 導関数を利用して、不等式を証明することができる
	13	☐ 方程式 $f(x) = a$ の実数解の個数を、関数 $y = f(x)$ のグラフと直線 $y = a$ の共有点の個数に読み替えて考察できる
	14	☐ 直線上を運動する点の速度・加速度を基に、平面上を運動する点の速度・加速度を考察する
	15	☐ 直線上や平面上を運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、点の座標が与えられたときにそれらを求めることができる
	16	☐ 等速円運動の定義を理解し、等速円運動をしている点の速度、加速度を求めることができる
	17	☐ 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる
	18	☐ 被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができる
	19	☐ 様々な工夫によって被積分関数を変形することで、不定積分を求めることができる

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学BC(理系)

学期	番号	内容
1学期	1	☐ ベクトルを利用して平面上の3点が一直線上にあるときの条件を理解している
	2	☐ チェバ・メネラウスの定理にベクトルを利用できる
	3	☐ 直線のベクトル方程式を理解している
	4	☐ 円にベクトルを利用できる
	5	☐ 空間上のベクトルを平面ベクトルの拡張としてとらえることができる
	6	☐ 空間のベクトルの成分を利用した計算ができる
	7	☐ 空間の点とベクトルの成分の関係を理解している
	8	☐ ベクトルの内積を, 平面から空間に拡張して利用できる
	9	☐ ベクトルのなす角をもとめることができる
	10	☐ ベクトルの垂直条件を計算に利用できる
	11	☐ 四面体を位置ベクトルで考察できる
	12	☐ 空間における平面を, 位置ベクトルで考察できる
	13	☐ ベクトルの分解を利用し, 計算に利用できる
	14	☐ 空間の図形の性質を, 内積を利用して証明できる
	15	☐ 2点間の距離の公式を理解している
	16	☐ 球面の方程式が求められる
	17	☐ 球面と平面が交わってできる図形を求めることができる
	18	☐ 球面の方程式から中心や半径を読み取ることができる
2学期	1	☐ 確率変数の確率分布を求めることができる
	2	☐ 確率変数の期待値, 分散, 標準偏差を求めることができる
	3	☐ 確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用することができる
	4	☐ 確率変数の和の期待値を, 公式を利用して求めることができる
	5	☐ 独立な確率変数の積の期待値を, 公式を利用して求めることができる
	6	☐ 独立な確率変数の和の分散を, 公式を利用して求めることができる
	7	☐ 反復試行の結果を, 二項分布を用いて表すことができる
	8	☐ 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる
	9	☐ 連続型確率変数について, 確率を求めることができる
	10	☐ 正規分布に従う確率変数 X を標準正規分布に従う確率変数 Z に変換できる
	11	☐ 標準正規分布に従う確率変数 Z についての確率を求めることができる
	12	☐ 標準正規分布表を用いて, 正規分布に関する確率の計算ができる
	13	☐ 二項分布に従う確率変数についての確率を正規分布を利用して求めることができる
	14	☐ 母平均, 母標準偏差を求めることができる
	15	☐ 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる
	16	☐ 標本平均の分布と正規分布の関係について理解している
	17	☐ 信頼区間の考え方をを用いて, 母平均や母比率の推定ができる
	18	☐ 仮説検定の問題を正規分布を利用して解くことができる
	19	☐ 両側検定, 片側検定の違いを理解している
	20	☐ 極形式の定義を理解し, 複素数を極形式で表すことができる
	21	☐ 複素数の積, 商の絶対値, 偏角の性質を理解し, それらを求めることができる
	22	☐ ド・モアブルの定理を利用して, 複素数の n 乗を求めることができる
	23	☐ 複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し, 極形式を利用して n 乗根を求めることができる
	24	☐ 線分の内分点, 外分点や三角形の重心を表す複素数を理解し, 求めることができる
	25	☐ 複素数の方程式を満たす点全体について考察し, その意味を考えることや計算で求めることができる

学期	番号		内容
2学期	26	☐	複素数の乗法の図形的意味を活用して、点 β を、点 α を中心として θ だけ回転した点を求めることができる
	27	☐	半直線のなす角を複素数で表すことを理解し、角度や複素数を求めることができる
	28	☐	複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し、それを活用することができる
3学期	1	☐	放物線の方程式から、概形をかき、焦点、準線を求めることができる
	2	☐	焦点が y 軸上にある放物線について、概形をかき、焦点、準線を求めることができる
	3	☐	楕円の方程式から、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる
	4	☐	焦点の座標などから、楕円の方程式を求めることができる
	5	☐	焦点が y 軸上にある楕円について、概形をかき、焦点、長軸の長さ、短軸の長さを求めることができる
	6	☐	双曲線の方程式から、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる
	7	☐	焦点が y 軸上にある双曲線について、概形をかき、焦点、頂点、漸近線を求めることができる
	8	☐	焦点の座標などから、双曲線の方程式を求めることができる
	9	☐	2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる
	10	☐	2次曲線と直線の交点や弦の中点の座標を求めることができる
	11	☐	2次曲線の接線の方程式を求めることができる
	12	☐	媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる
	13	☐	円、楕円、双曲線を媒介変数表示できる
	14	☐	点の座標について、直交座標と極座標を相互に変換できる
	15	☐	簡単な曲線を極方程式で表すことができる
	16	☐	平面上の曲線について、 x, y の方程式と極方程式を相互に変換できる

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学Ⅱ(文系)

学期	番号	内容
1学期	1	☐ 不定積分の計算ができる
	2	☐ 不定積分の定義や性質を理解している
	3	☐ 与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる
	4	☐ 定積分の定義や性質を理解している
	5	☐ 定積分を含む関数を求めることができる
	6	☐ 直線や曲線で囲まれた面積を求めることができる
	7	☐ 絶対値のついた定積分の計算方法を理解している
	8	☐ WINSTEP数と式のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	9	☐ WINSTEP数と式のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	10	☐ WINSTEP数と式のMASTERの問題が5割以上解ける
	11	☐ WINSTEP数と式のMASTERの問題が8割以上解ける
	12	☐ WINSTEP数と式のACTIVEの問題が5割以上解ける
	13	☐ WINSTEP数と式のACTIVEの問題が8割以上解ける
	14	☐ WINSTEP数と式のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	15	☐ WINSTEP数と式のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	16	☐ WINSTEP2次関数のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	17	☐ WINSTEP2次関数のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	18	☐ WINSTEP2次関数のMASTERの問題が5割以上解ける
	19	☐ WINSTEP2次関数のMASTERの問題が8割以上解ける
	20	☐ WINSTEP2次関数のACTIVEの問題が5割以上解ける
	21	☐ WINSTEP2次関数のACTIVEの問題が8割以上解ける
	22	☐ WINSTEP2次関数のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	23	☐ WINSTEP2次関数のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
2学期	1	☐ WINSTEP図形と計量のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	2	☐ WINSTEP図形と計量のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	3	☐ WINSTEP図形と計量のMASTERの問題が5割以上解ける
	4	☐ WINSTEP図形と計量のMASTERの問題が8割以上解ける
	5	☐ WINSTEP図形と計量のACTIVEの問題が5割以上解ける
	6	☐ WINSTEP図形と計量のACTIVEの問題が8割以上解ける
	7	☐ WINSTEP図形と計量のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	8	☐ WINSTEP図形と計量のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	9	☐ WINSTEPデータの分析のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	10	☐ WINSTEPデータの分析のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	11	☐ WINSTEPデータの分析のMASTERの問題が5割以上解ける
	12	☐ WINSTEPデータの分析のMASTERの問題が8割以上解ける
	13	☐ WINSTEPデータの分析のACTIVEの問題が5割以上解ける
	14	☐ WINSTEPデータの分析のACTIVEの問題が8割以上解ける
	15	☐ WINSTEPデータの分析のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	16	☐ WINSTEPデータの分析のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	17	☐ WINSTEP場合の数と確率のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	18	☐ WINSTEP場合の数と確率のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	19	☐ WINSTEP場合の数と確率のMASTERの問題が5割以上解ける
	20	☐ WINSTEP場合の数と確率のMASTERの問題が8割以上解ける

学期	番号		内容
2学期	21	☐	WINSTEP場合の数と確率のACTIVEの問題が5割以上解ける
	22	☐	WINSTEP場合の数と確率のACTIVEの問題が8割以上解ける
	23	☐	WINSTEP場合の数と確率のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	24	☐	WINSTEP場合の数と確率のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	25	☐	WINSTEP図形の性質のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	26	☐	WINSTEP図形の性質のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	27	☐	WINSTEP図形の性質のMASTERの問題が5割以上解ける
	28	☐	WINSTEP図形の性質のMASTERの問題が8割以上解ける
	29	☐	WINSTEP図形の性質のACTIVEの問題が5割以上解ける
	30	☐	WINSTEP図形の性質のACTIVEの問題が8割以上解ける
	31	☐	WINSTEP図形の性質のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	32	☐	WINSTEP図形の性質のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
3学期	1	☐	WINSTEP三角関数のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	2	☐	WINSTEP三角関数のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	3	☐	WINSTEP三角関数のMASTERの問題が5割以上解ける
	4	☐	WINSTEP三角関数のMASTERの問題が8割以上解ける
	5	☐	WINSTEP三角関数のACTIVEの問題が5割以上解ける
	6	☐	WINSTEP三角関数のACTIVEの問題が8割以上解ける
	7	☐	WINSTEP三角関数のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	8	☐	WINSTEP三角関数のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	9	☐	WINSTEP指数・対数関数のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	10	☐	WINSTEP指数・対数関数のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	11	☐	WINSTEP指数・対数関数のMASTERの問題が5割以上解ける
	12	☐	WINSTEP指数・対数関数のMASTERの問題が8割以上解ける
	13	☐	WINSTEP指数・対数関数のACTIVEの問題が5割以上解ける
	14	☐	WINSTEP指数・対数関数のACTIVEの問題が8割以上解ける
	15	☐	WINSTEP指数・対数関数のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	16	☐	WINSTEP指数・対数関数のCHALLENGEの問題が8割以上解ける
	17	☐	WINSTEP微分・積分のWARMING UPの問題が5割以上解ける
	18	☐	WINSTEP微分・積分のWARMING UPの問題が8割以上解ける
	19	☐	WINSTEP微分・積分のMASTERの問題が5割以上解ける
	20	☐	WINSTEP微分・積分のMASTERの問題が8割以上解ける
	21	☐	WINSTEP微分・積分のACTIVEの問題が5割以上解ける
	22	☐	WINSTEP微分・積分のACTIVEの問題が8割以上解ける
	23	☐	WINSTEP微分・積分のCHALLENGEの問題が5割以上解ける
	24	☐	WINSTEP微分・積分のCHALLENGEの問題が8割以上解ける

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学BC(文系)

学期	番号	内容
1学期	1	☐ ベクトルを利用して平面上の3点が一直線上にあるときの条件を理解している
	2	☐ チェバ・メネラウスの定理にベクトルを利用できる
	3	☐ 直線のベクトル方程式を理解している
	4	☐ 円にベクトルを利用できる
	5	☐ 空間上のベクトルを平面ベクトルの拡張としてとらえることができる
	6	☐ 空間のベクトルの成分を利用した計算ができる
	7	☐ 空間の点とベクトルの成分の関係を理解している
	8	☐ ベクトルの内積を、平面から空間に拡張して利用できる
	9	☐ ベクトルのなす角をもとめることができる
	10	☐ ベクトルの垂直条件を計算に利用できる
	11	☐ 四面体を位置ベクトルで考察できる
	12	☐ 空間における平面を、位置ベクトルで考察できる
	13	☐ ベクトルの分解を利用し、計算に利用できる
	14	☐ 空間の図形の性質を、内積を利用して証明できる
	15	☐ 2点間の距離の公式を理解している
	16	☐ 球面の方程式が求められる
	17	☐ 球面と平面が交わってできる図形を求めることができる
	18	☐ 球面の方程式から中心や半径を読み取ることができる
2学期	1	☐ 確率変数の確率分布を求めることができる
	2	☐ 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる
	3	☐ 確率変数の期待値 $E(X)$ や分散 $V(X)$ などの計算式を理解して活用することができる
	4	☐ 確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる
	5	☐ 独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる
	6	☐ 独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる
	7	☐ 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。
	8	☐ 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる
	9	☐ 連続型確率変数について、確率を求めることができる
	10	☐ 正規分布に従う確率変数 X を標準正規分布に従う確率変数 Z に変換できる
	11	☐ 標準正規分布に従う確率変数 Z についての確率を求めることができる
	12	☐ 標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる
	13	☐ 二項分布に従う確率変数についての確率を正規分布を利用して求めることができる
	14	☐ 母平均、母標準偏差を求めることができる
	15	☐ 母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる
	16	☐ 標本平均の分布と正規分布の関係について理解している
	17	☐ 信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる
	18	☐ 仮説検定の問題を正規分布を利用して解くことができる
	19	☐ 両側検定、片側検定の違いを理解している。
	20	☐ 進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」WARMING UPが5割以上解ける

学期	番号		内容
2学期	21	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」WARMING UPが8割以上解ける
	22	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」WARMING UPが8割以上解ける
	23	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」MASTERが5割以上解ける
	24	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」MASTERが8割以上解ける
	25	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」ACTIVEが5割以上解ける
	26	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」ACTIVEが8割以上解ける
	27	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」CHALLENGEが5割以上解ける
	28	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「数列」CHALLENGEが8割以上解ける
3学期	1	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」WARMING UPが5割以上解ける
	2	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」WARMING UPが8割以上解ける
	3	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」MASTERが5割以上解ける
	4	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」MASTERが8割以上解ける
	5	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」ACTIVEが5割以上解ける
	6	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」ACTIVEが8割以上解ける
	7	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」CHALLENGEが5割以上解ける
	8	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「統計的な推測」CHALLENGEが8割以上解ける
	9	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」WARMING UPが5割以上解ける
	10	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」WARMING UPが8割以上解ける
	11	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」MASTERが5割以上解ける
	12	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」MASTERが8割以上解ける
	13	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」ACTIVEが5割以上解ける
	14	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」ACTIVEが8割以上解ける
	15	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」CHALLENGEが5割以上解ける
	16	☐	進研WINSTEP数学ⅡBCBasic「ベクトル」CHALLENGEが8割以上解ける

湯梨浜学園 VICTORY LIST 化学(理系)

番号		内容
1	☐	物質の三態と状態図の関係を読み取ることができる。
2	☐	水銀柱を用いた圧力の計算ができる。
3	☐	ボイル・シャルルの法則を用いた計算ができる。
4	☐	気体の状態方程式を用いてさまざまな値を求めることができる。
5	☐	混合気体の分圧を用いた計算ができる。
6	☐	水の飽和蒸気圧に関する計算ができる。
7	☐	理想気体と実在気体の違いを説明できる。
8	☐	固体(無水物)の溶解度の計算ができる。
9	☐	固体(水和物)の溶解度の計算ができる。
10	☐	気体の溶解度の計算ができる。
11	☐	沸点上昇、凝固点降下など質量モル濃度を用いた計算ができる。
12	☐	凝固点降下に関するグラフを読み取ることができる。
13	☐	浸透圧に関する計算ができる。
14	☐	コロイドの種類とその性質を説明できる。
15	☐	金属の面心立方格子、体心立方格子に関する計算ができる。
16	☐	ダイヤモンドや黒鉛のような複雑な結晶格子の計算ができる。
17	☐	イオンの結晶格子に関する計算ができる。
18	☐	エンタルピー図に表すことができる。
19	☐	結合エネルギーに関する計算ができる。
20	☐	エネルギー図を用いた計算ができる。
21	☐	問題文や表・グラフの値を用いて反応速度式を使った計算ができる。
22	☐	モル濃度を用いた平衡定数に関する計算ができる。
23	☐	ルシャトリエの原理を用いて平衡の移動を説明できる。
24	☐	対数を用いて水素イオン濃度とpHに関する計算ができる。
25	☐	電離平衡の計算ができる。
26	☐	緩衝液に関する計算ができる。
27	☐	溶解度積を用いた計算ができる。
28	☐	ハロゲンの単体や化合物の性質を説明できる。
29	☐	塩素の製法に関する問題が解ける。
30	☐	酸素や硫黄の単体や化合物の性質を説明できる。
31	☐	接触法に関する問題が解ける。
32	☐	窒素やリンの単体や化合物の性質を説明できる。
33	☐	オストワルト法に関する問題が解ける。
34	☐	炭素やケイ素の単体や化合物の性質を説明できる。
35	☐	非金属元素に関する反応式が書ける。
36	☐	アルカリ金属の単体や化合物の性質を説明できる。
37	☐	2族元素の単体や化合物の性質を説明できる。
38	☐	アンモニアソーダ法(ソルベー法)のしくみを説明できる。
39	☐	両性元素の単体や化合物の性質を説明できる。
40	☐	両性元素に関する反応式が書ける。

番号		内容
41	☐	遷移元素の特徴を典型元素と比較して説明できる。
42	☐	鉄の精錬について説明できる。
43	☐	鉄の単体、鉄を含む化合物・イオンの性質を説明できる。
44	☐	銅の単体、銅を含む化合物・イオンの性質を説明できる。
45	☐	銀の単体、銀を含む化合物・イオンの性質を説明できる。
46	☐	クロムやマンガンなどその他の遷移元素の特徴を説明できる。
47	☐	錯イオンの名称とイオン式が書ける。
48	☐	金属イオンの系統分離ができる。
49	☐	質量を用いた元素分析の計算ができる。
50	☐	質量パーセント濃度を用いた元素分析の計算ができる。
51	☐	構造異性体の構造式を書ける。
52	☐	官能基の名称、構造式を書ける。
53	☐	飽和炭化水素の特徴を化学反応式を用いて説明できる。
54	☐	不飽和炭化水素の特徴を化学反応式を用いて説明できる。
55	☐	アルコールの分類ができ、反応を説明できる。。
56	☐	アルデヒド・カルボン酸の性質・反応を説明できる。
57	☐	エステル合成・加水分解が化学反応式を用いて説明できる。
58	☐	油脂・セッケンに関する化学反応式が書ける。
59	☐	セッケン・合成洗剤の性質を説明できる。
60	☐	芳香族炭化水素の名称と構造式が書ける。
61	☐	フェノールの合成法を説明できる。
62	☐	フェノールに関する反応式が書ける。
63	☐	芳香族カルボン酸の名称と構造式が書ける。
64	☐	芳香族カルボン酸に関する反応式が書ける。
65	☐	芳香族アミンに関する反応式が書ける。
66	☐	混合した有機化合物の分離法が説明できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 物理

番号		内容
1	☐	剛体のモーメントについて理解し、つり合いの式を立てることができる。
2	☐	重心の求め方を理解し、剛体に重心を求めることができる。
3	☐	運動量と力積の関係を理解し、ベクトル図を使って運動量や力積を求めることができる。
4	☐	衝突2物体に運動量保存則と反発係数の定義を使い、物体の速度を求めることができる。
5	☐	平面内(等速系)の円運動に対して、力のつりあいと円運動の運動方程式が立てられる。
6	☐	鉛直方向(非等速系)の円運動に対して、力学的エネルギー保存則と運動方程式を立てられる。
7	☐	慣性力について理解し、物体の運動から運動する物体の加速度を求めることができる。
8	☐	単振動を理解し、物体の変位、速度、加速度や時間について求めることができる。
9	☐	鉛直方向の単振動において、運動方程式から、振動の中心や振幅などを求めることができる。
10	☐	ケプラーの法則を理解し、説明できる。
11	☐	円運動する惑星の運動に関して、運動方程式をたて、速度や周期を求めることができる。
12	☐	楕円運動する惑星の運動に関して、速度や周期を求めることができる。
13	☐	気体分子運動論を理解し、気体の圧力や2乗平均速度を求めることができる。
14	☐	熱力学第1法則を理解し、説明することができる。
15	☐	定積、定圧、等温、断熱変化に対し、仕事や熱量、内部エネルギーを求められる。
16	☐	三角関数を用いて波の式を立式し、任意の位置における波の振幅を求めることができる。
17	☐	波の性質である屈折、干渉、回折について説明できる。
18	☐	音のドップラー効果のについて、公式の原理を理解し、状況に応じて式を立てることができる。
19	☐	光の性質である屈折、干渉、回折に加え分散、偏向についても説明できる。
20	☐	屈折の法則を理解し、屈折による物体の浮き上がりや全反射について理解する。
21	☐	レンズの写像公式、倍率公式の成り立ちを理解し、様々な状況で公式を使える。
22	☐	光路差と反射による位相のずれから、光の干渉条件を導ける。
23	☐	点電荷の電場、電位の定義及び物理量を理解し、任意の点での電場や電位を求められる。
24	☐	ガウスの法則を理解し、導体及び不導体の内外部の電場や電位の様子がグラフ化できる。
25	☐	コンデンサーの直列、並列を見分けることができる。
26	☐	スイッチの切り替えによる電気量の変化を電気量保存則から、求めることができる。
27	☐	キルヒホッフの法則から抵抗に流れる電流を計算できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 生物

番号		内容
1	☐	原始地球の環境について理解し、生命の起源がどのように誕生したかを説明できる。
2	☐	真核生物の誕生と細胞内共生説を説明できる。
3	☐	遺伝的変異について説明できる。
4	☐	二遺伝子雑種について理解し、方形区(パネツスクエア)を利用して問題を解くことができる。
5	☐	組換え価の計算ができる。
6	☐	自然選択と適応進化のしくみについて理解している。
7	☐	ハーディー・ワインベルグの法則を用いて遺伝的構成の変化を考えることができる。
8	☐	遺伝的浮動について理解している。
9	☐	種分化のしくみについて説明できる。
10	☐	アミノ酸の相違における分子進化について考えることができる。
11	☐	生物の階層的分類について説明できる。
12	☐	真核生物ドメインにおける各界を説明できる。
13	☐	類人猿とヒトの違いを説明できる。
14	☐	人類の誕生と変遷の過程を理解している。
15	☐	細胞の構造を図示し、細胞内構造物のはたらきについて説明ができる。
16	☐	タンパク質の構造の構造について説明できる
17	☐	酵素の構造およびはたらきと、阻害効果による調節について説明できる。
18	☐	膜貫通タンパク質の種類とはたらきについて説明できる。
19	☐	MHC・TLR・TCRIについて説明できる。
20	☐	呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを説明できる。
21	☐	発酵と呼吸の違いを説明できる。
22	☐	光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられる仕組みを説明できる。
23	☐	DNAの複製の仕組みを説明できる。
24	☐	遺伝情報が発現するまでの流れを詳細に説明できる。
25	☐	遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を説明できる。
26	☐	動物の配偶子形成について理解する。
27	☐	ウニの受精時に生じる現象について説明できる。
28	☐	ウニとカエルの初期発生について図示し、違いを明確にして説明できる。
29	☐	尾芽胚期の器官分化について図示し、各部位の予定運命を説明できる。
30	☐	発生過程における細胞の分化と誘導の仕組みを理解し説明できる。
31	☐	母性効果遺伝子と動物のホメオティック遺伝子について説明できる。
32	☐	PCR、マイクロピペット、電気泳動法などの基本的な操作知識を身に付けている。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 英語

番号		内容
1	☐	各段落のトピックセンテンスを意識して読むことができる。(Reading)
2	☐	文章全体の大意を把握することができる。(Reading)
3	☐	指示語をとらえながら英文を読むことができる。(Reading)
4	☐	逆接・順接の接続詞を意識して読むことができる。(Reading)
5	☐	英文の基本構造(SVOC)を見抜くことができる。(Reading)
6	☐	分詞や関係詞による修飾・説明をとらえことができる。(Reading)
7	☐	形式主語(目的語)が示す名詞句(節)に気づき、文脈を考えることができる。(Reading)
8	☐	It is ~ thatの文において強調構文を見抜くことができる。(Reading)
9	☐	代用表現や省略を補って文脈を考えることができる。(Reading)
10	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で5割程度正答できる。(Reading)
11	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で6割以上正答できる。(Reading)
12	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で8割以上正答できる。(Reading)
13	☐	和訳問題において6割以上正答できる。(Reading)
14	☐	内容正誤問題において6割以上正答できる。(Reading)
15	☐	内容正誤問題において8割以上正答できる。(Reading)
16	☐	基本5文型を理解し、文章を書くことができる。(Writing)
17	☐	トピックセンテンスを書くことができる。(Writing)
18	☐	トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する。(Writing)
19	☐	for exampleなど用いて例を挙げながら書くことができる。(Writing)
20	☐	first, thenなどを用いて時間の順序を考えて書くことができる。(Writing)
21	☐	but, additionallyなどを用いて書くことができる。(Writing)
22	☐	イディオムや構文を取り入れた英文を書くことができる。(Writing)
23	☐	構文や文法を意識して並べかえ問題や英作文ができる。(Writing)
24	☐	パラグラフの構成を考えることができる。(Writing)
25	☐	パラグラフを構成することができる。(Writing)
26	☐	一つのパラグラフを英文で書くことができる。(Writing)
27	☐	直訳でなく、日本語の意味に沿った自然な英作文ができる。(Writing)
28	☐	英語で短いエッセイを書くことができる。(Writing)
29	☐	全国模試における英作文で4割以上得点できる。(Writing)
30	☐	全国模試における英作文で6割以上得点できる。(Writing)
31	☐	全国模試における英作文で8割以上得点できる。(Writing)
32	☐	イギリス英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
33	☐	アメリカ英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
34	☐	絵や写真を説明する英文が聞き取れる。(Listening)
35	☐	短い対話を聞き取ることができる。(Listening)
36	☐	講義文を聞き、その内容を理解することができる。(Listening)
37	☐	複数の説明を聞き、総合的に理解し判断することができる。(Listening)
38	☐	時刻や金額など、数を聞き取ることができる。(Listening)
39	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において4割以上正答できる。(Listening)
40	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において6割以上正答できる。(Listening)

番号		内容
41	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において8割以上正答できる。(Listening)
42	☐	未知の語彙に関する問いに対して6割以上正答できる。(語彙)
43	☐	300問テストで100点以上得点できる。(語彙)
44	☐	300問テストで150点以上得点できる。(語彙)
45	☐	300問テストで200点以上得点できる。(語彙)
46	☐	英単語の強化に努めている。(受験対策)
47	☐	イディオムの強化に努めている。(受験対策)
48	☐	構文・語法の強化に努めている。(受験対策)
49	☐	精読・和訳の強化に努めている。(受験対策)
50	☐	大意把握・要約の強化に努めている。(受験対策)
51	☐	条件英作文・語句整序問題の強化に努めている。(受験対策)
52	☐	自由英作文の強化に努めている。(受験対策)
53	☐	難関大の過去問題(対策問題)を解いた。(受験対策)
54	☐	私大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)
55	☐	国公立大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)